



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ
2020～2021 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「集う」



◆会長 村瀬 祐治 ◆幹事 岡崎 壮男 ◆会報委員長 岩本 正樹 ◆会報担当 今井 哲也

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1253 回	58 名	57 名	45 名	—	78.95%
前々回 1251 回	58 名	57 名	49 名	0 名	85.96%

- 点 鐘 直前〃〃会長 中田専太郎
- ロータリーソング 奉仕の理想
- 高山中央ロータリークラブ倫理基準
- 本日のゲスト

ロータリー米山記念奨学生

メイ スイート様

- 会長の時間 副会長 中田 学



本日は、村瀬会長がお休みですので代理で会長の時間を務めさせていただきます。

今日は、米山記念奨学委員会の例会で、卓話講師として米山記念奨生のメイ・スイート

さんに来て頂いています。10月は米山月間です。

米山記念事業は、奨学生の世話クラブと米山寄付があります。学校がある地域のクラブだけが世話クラブを行っていたのですが、村瀬さんが地区米山記念奨学委員長の時、地区内のすべてのクラブが世話をするとする事となり当クラブも2年前に初めて米山記念奨学生を受け入れました。

この事は、本年度RI会長ボルガー氏の「ロータリーは機会の扉を開く」に繋がっていて、私たちの知らない世界を教えて頂く「機会の扉」をもらいました。この事業は、ご寄付とお世話クラブ、お願いすることが多いです。そんな風にとらえて関わって頂きたいをお願いをして終わります。ありがとうございました。

会長ではありませんが、会長の時間とさせていただきます。

- 幹事報告 幹事 岡崎 壮男

◎ロータリー米山記念奨学会より

・ハイライトよねやま 247

○高山ロータリークラブより

・例会変更のお知らせ

11月19日(木) 18:30～

ホテルアソシア高山リゾート

高山RC創立60周年記念

紅葉同伴例会の為

<高山市長より>

・いのちの森づくり(植樹)のご案内

日時: 10月31日(土)

13:30～15:00

会場: 東部工場団地(高山市松之木町)

<会報>

・下呂RC ・美濃加茂RC

●本日のプログラム

米山記念奨学委員会 委員長 高木 純



今日は会長不在とのことで、急遽 奨学生の出迎え、見送りを熊崎さん、接待を清水さん、中田専太郎にお願いしました。誠にありがとうございました。

会長から May Sweet さんを紹介するように言われましたので、まずは紹介させていただきます。ミャンマーご出身で、現在 岐阜大学大学院工学科学研究科 専攻は電子情報システム工学を勉強するために留学して見えます。奨学金支給予定期間は 2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日で、同 3 月に卒業予定となっております。

本来でしたら、地区委員の村瀬さんがお話しされる予定でしたが、本日欠席の為私が説明させていただきます。ほとんどの会員の皆様にはよくご存知のことで、必要の無いことも多いですが、昨年 葛谷先生、西美紀さん以降の新入会員の皆様には今日配布されたロータリー豆辞典をお目とおしいただき、ご理解していただければと思います。

1952 年、日本に最初に設立された東京ロータリークラブ（1920 年設立）が、日本のロータリーの創始者と呼ばれる米山梅吉氏の功績を記念して米山氏死後 6 年後に始めた国際奨学事業が、国内のロータリーの事業として発展し 60 年以上の歴史を持つ日本のロータリー独自の国際事業です。まめ辞典にもありますが、静岡県長泉町にある米山梅吉記念館とは別法人で運営されています。

米山記念と米山氏の名前を冠しておりますが、米山氏の資産をもとに作られた財団ではありません。財源は全国のロータリアンからの寄付金です。1967 年 7 月 1 日 文部省の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。2017 年 7 月に 50 周年を迎えましたので、現在 53 年が経過しています。

この事業の使命は、日本と世界を結ぶ架け橋とな

り、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。

1954 年に第 1 号のタイからの奨学生を迎えて事業は始まりました。また、米山記念奨学会のホームページに詳しい説明 ビデオがありますので、お時間があるときに見ていただくと良いと思います。奨学生の国別としては、中国・韓国・台湾の順でアジアの国が多いですが、今後は変わっていくのでは無いかと思います。では、メイ スウィートさんよろしくお祈りします。

■ロータリー米山記念奨学生スピーチ メイ スウィート様



私の名前はメイスイートです。ミャンマーの第二の都市マンダレー出身、26 歳です。私はミャンマーのマンダレー大学工学部で最初

の学位を取得して卒業しました。そして、2018 年 3 月に岐阜大学工学部で修士号を取得しました。現在は同じ大学で、博士課程を勉強していて、博士 3 年生です。

私の趣味はダンスです。ミャンマーの伝統的なダンスと現代のヒップホップのダンス、どちらも踊るのが好きです。大学祭では、有志で友達とダンスを披露した経験もあります。使う言語はミャンマー語、英語、日本語です。次に、ミャンマーについて紹介します。大統領はアウンサンスーチーです。私たちミャンマーのために人生を捧げた彼女は、尊敬されている著名な女性の一人です。新政府となり、この 5 年で教育制度も整い、ミャンマーは発展しています。ミャンマーは、日本と同じ仏教の国です。国民の仏教への信仰心は強く、週末はパゴダ（お寺）に行き、お祈りします。僧侶の方もたくさん生活していて、私たちは食べ物や飲み物を惜しみなく寄付します。仏教国とはいえ、ミャンマーには 135 の民族が住んでいて、宗教も様々あ

ります。ミャンマーの首都ネピドーは、2006年に移転しました。ネピドーには政府の建物しかなく、住んでいるほとんどが公務員です。それまで首都だったヤンゴンも、現在も経済・商業の中心地です。ミャンマーで最も有名な黄金の仏塔、シュエタゴンパゴタがあります。マンダレーは私の故郷で、ミャンマー最後の王朝があった都市です。街には、再建された宮殿があり、王朝の雰囲気を感じることができます。古代都市バガンでは最初の王朝が生まれました。11世紀から13世紀にかけて、4,446の仏教寺院、仏塔、僧院がバガン平原に建設され、そのうち3,822棟が遺跡として現在も残っています。2019年ユネスコの世界遺産に登録されました。ミャンマーのご飯も特徴的です。私たちはお茶を飲むだけでなく、緑茶サラダとして食べます。茶、トマト、豆、油を混ぜて作った緑茶サラダを、ご飯と一緒に食べるのがおいしいです。朝食の定番はモヒンガー（魚のスープ麺、またはココナッツ麺）やお茶または米と豆などです。ランチでも3～4種類の副菜を食べます。ミャンマーは生の魚やお肉は食べません。ミャンマーには、仏教の神秘、伝統的な食べ物、美しい自然がある魅力的な国です。そして、人も優しいし、治安もいいです。是非、私たちの国へ来てください。

【日本に留学している理由】

私が日本に留学した目的は最先端の科学技術と日本の文化を身に着けることです。そう思ったきっかけは、JSTプログラムに選抜され、一カ月間、岐阜大学工学部を見学させて頂いたことです。そこでは日本の技術教育の水準の高さに関心を持ちました。その理由を以下に2つ述べます。1つめは、複数の学問領域を統合した最先端の科学技術を学ぶことです。2つめは、学生一人一人が研究室に所属し、教授と学生が協働し合って研究を進めて

いくことです。研究は、周りの人と協力し合って、自ら進めていかなければなりません。そのような環境は私の研究スキルを磨くことができると感じました。ミャンマーには、研究するための道具はほとんどないので、研究活動をするのは難しいです。日本でなら実験道具と触れあいながら、研究をするので、日本に留学することをワクワクしていました。

【実際に日本に来てどうだったか】

日本に滞在した4年間の経験の中で、日本で良かったこと、大変だったことがありました。

<良かったこと>

- ・日本人の学生や教授と一緒に専門的な研究、勉強ができることです。
 - ・日本の文化には独特の魅力を感じたことです。時代劇のドラマや映画が好きになりました。
 - ・人々はとても優しくて礼儀正しいと感じています。
 - ・バスや電車の運行が正確なこと。夜も心配しないで出歩くことができます。日本各地に旅行出来たことも嬉しかったです。
- どの国に留学するかを決める時に、検討すべき多くの事項の中で、安全性は最も重要なものの1つであると思います。日本は安心して暮らすことができる、素晴らしい国です。



<大変だったこと>

・生活のほとんどは日本語ばかりなこと。特に授業で苦労しました。難しい漢字を勉強しなければなりませんでした。

・家族や親しい友人から遠く離れていることです。気持ちが落ち込んで相談をしたいと思っても、他人行儀の人が多く、理解してくれる人が少ないと感じます。

人の暖かさという点で日本とミャンマーを比較すると、日本は冷たいと思いました。ミャンマーでは、家族で看護や介護をするのが一般的です。しかし日本では、ほとんどの人は様々な場所で、自分のことで忙しく、病人の看護や介護を医者と看護師に頼っている家庭が多いです。それは悲しいことと思います。このような光景は私にとっては不思議でした。日本の人々は余裕があり、優しく親切に感じます。そして、高度なインフラが整っているので安心して暮らせます。しかし、便利な生活ゆえの冷たさ、寂しさを感じる時もありました。



<ニコニコ BOX>

ロータリー米山記念奨学生 メイ スイート様のご来訪を歓迎致します。本日は卓話をよろしくお願い致します。 **理事役員一同**

本日は、岐阜大学大学院から米山記念奨学生のメイ・スイートさんに来て頂きました。卓話、よろしくお願い致します。 **高木 純**

結婚記念日のお祝いのお花をありがとうございます。優しい妻の笑顔が見れてとても幸せを感じました。 **久々野 国良**

待望の男の初孫を授かることが出来ました。これからは心を入れ替えて真面目に生きていこうと思います。感謝を込めてニコニコへ。 **岩本 正樹**

16日開催の「ひだしん会ゴルフコンペ」に、当クラブ会員からも多数のご参加を頂き無事終えることが出来ました。ありがとうございます。 **大原 誠**

ひだしんさんのコンペで準優勝をしてさるばるばるコインを少し頂きましたのでニコニコへ。 **三枝 祥一**

